

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	少数性生物学—個と多数の狭間が織りなす生命現象の探求—
領域代表者	永井 健治（北海道大学・電子科学研究所・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、超解像顕微光学、光分子制御技術、細胞生物学、数理科学などの諸分野の融合により、濃度依存性の理論では解釈できない分子数依存性の生命現象にアプローチする極めて必要性と独創性の高い意欲的な研究である。領域代表者をはじめ実績のある若手の計画研究代表者によって領域組織は構成されており、計測技術の開発、モデル生命現象における適用および理論構築の研究などバランスのとれた計画研究の構成となっている。総括班については若手支援や研究交流を積極的に図るよう計画されており、新規技術開発のために関連メーカーとの積極的な技術連携を仲介するなど大いに評価できる。本研究領域の推進により、少数の分子の協同性という全く新しい概念に基づいた既存の学問には収まらない新たな学問領域の創出が期待される。</p>